

# スタジアム観戦の阻害要因

## —Jリーグと他スポーツリーグのスタジアム観戦者を比較して—

スポーツマネジメントゼミナール 1316051 長谷川 雄真

### 1. 研究動機・研究目的

スポーツ庁(2018)の「スポーツの実施等に関する世論調査」によると、1年間に「直接現地で」スポーツ観戦をした者の割合は26.8%、「直接現地で」スポーツ観戦をしなかった者の割合は73.2%であった。さらに、「テレビやインターネットで」スポーツ観戦をした人は75.7%、「テレビやインターネットで」スポーツ観戦をしなかった人は24.3%だった。この結果から、近年ではアウトドアな観戦よりもインドアの観戦の方が主流であることが明らかである。また、Jリーグスタジアム観戦者調査(2018)によると、19歳～22歳の年代は、2010年～2018年の平均が約6%で大学生世代の観戦者は少ない。Jリーグ観戦者の中で割合の低い大学生世代の集客が鍵となると考えられる。また、大学生世代を取り込む上で、先ず大学生の中でもスポーツに関心が深いスポーツ系大学生を取り込むことで、スポーツに関心が無い層にもスポーツ観戦の魅力を波及する力があると推察されるため、スポーツ系大学生を対象とした調査が必要であった。

そこで本研究の目的は、大学生世代のスタジアム観戦に注目し、Jリーグのスタジアム観戦者で大学生世代が少ない阻害要因を明らかにすること。そして、Jリーグをスタジアム観戦する大学生世代を増やすために何が必要なのかを明らかにすることとした。

### 2. 研究方法

J大学の学生270名に対して、Google Formアンケートを用いて調査を行った。本研究の調査項目は、個人的属性に関する項目(9項目)、レジャーに関する項目(11項目)、スタジアム観戦に関する項目(6項目)、スポーツに対する考え方に関する項目(5項目)、有料スポーツチャンネルに関する項目(4項目)の計35項目であった。分析にはSPSS ver. 21を用いて、記述分析、 $\chi^2$ 検定、t検定などを行った。

### 3. 主な結果と考察

本研究のリサーチクエスチョンは、「Jリーグのスタジアム観戦者で大学生世代が少ないことには様々な阻害要因が存在しているのではないか」とした。

スタジアム観戦経験がない人のスタジアム観戦をしない理由として以下のことが明らかとなった。

1. 女性の観戦者の方が男性の観戦者と比較するとスタジアム観戦をした回数が少ない。
2. スタジアムで面白そうなイベントがないことや試合を見ながらの飲食に魅力を感じていない。
3. NPBと比較すると「試合を観ながらの飲食が楽しいから」が観戦動機として低かった。
4. B.LEAGUEと比較すると「スタジアムでしか味わえない感動があるから」が観戦動機と

して低かった。

5. スタジアム観戦をしたことがない人ほど「スポーツは家で TV やスマホを通して観るので十分だ」と、「スポーツを観るためにスタジアムまで足を運ぶのは苦痛だ」が高い値を示した。

J リーグの観戦者で大学生世代が少ないことには以上の5つの阻害要因があることが明らかとなった。

#### 4. 結論

本研究において、スタジアム観戦について調査を行い J リーグ以外のプロスポーツリーグについても調査を行なった。その結果を踏まえ J リーグをスタジアム観戦する大学生世代を増やすために必要なこととして以下の4つが明らかとなった。

1. スタジアム観戦者を増やすためには、女性のリピーター層を増やすことが必要であること。

2. 大学生世代同士で話題になるようなイベントを創出し、スタジアム観戦にスポーツを観ること以外の価値を創造すること。

3. 有名選手の存在が J リーグ観戦者を増加させる観戦動機となっているとともに、J リーグを観戦する大学生世代にとっても大きな観戦動機となっているため、今後も有名選手を J リーグに取り込んでいくこと。

4. DAZN の存在は、「直接現地で」スポーツ観戦することの阻害要因となっていることは明らかであるが、DAZN を利用しスタジアム観戦に新たな価値を加えること。

#### 5. 卒業論文の執筆を終えて

卒業論文の執筆を終え、以前より興味があった「J リーグ」と「スタジアム観戦」を大学生世代に焦点をあてたことでより理解を深めることができた。また、現在有名外国人選手や DAZN 等により J リーグに関心が高まっている。そんな中で J リーグスタジアム観戦の阻害要因を明らかにし、J リーグのスタジアム観戦者増加に寄与する研究を行えたことを誇りに思う。しかし、本研究ではスポーツ系大学生を対象に行なったため、スポーツに関心のある層の割合が多かった。今後はスポーツに関心が低い大学生を中心に研究を行うことで、大学生世代の J リーグスタジアム観戦者が増える手掛かりを得ることができると考えられる。

今後、J リーグのスタジアム観戦者が増加し、J リーグが発展することを願っている。

今回本研究を進めるにあたり、指導教官の小笠原悦子教授からは格別のご指導、助言を賜りましたことを心から御礼申し上げます。また、大学院生の三倉茜さんには親身になってご指導いただいたことを感謝申し上げます。

最後に、今回の卒業論文を作成していく中で、スポーツマネジメントゼミナールの4年生には、多くのご協力、ご指導をしていただき心から感謝しています。